

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

刊夕日六十月一十

定価 一月五圓 三月十三圓 半年二十五圓 一年五十圓  
 郵税 五厘 廣告 五字一圓 十字一圓 二十字一圓 三十字一圓 五十字一圓 一百字一圓 二百字一圓 三百字一圓 四百字一圓 五百字一圓 六百字一圓 七百字一圓 八百字一圓 九百字一圓 一千字一圓  
 印刷 每日印刷  
 電話 六三〇番

### 貸家廣告

白銀町 勤人向 十五圓  
 仲間町 勤人向 十五圓  
 同 勤人向 十五圓  
 五丁目 勤人向 十五圓  
 北白銀 商店向 七圓  
 内郷村 勤人向 十二圓  
 小島 勤人向 十二圓

### 加藤營業所


白銀町 電話三三二番

### 冬の特價提供品

メリヤスシャツ 十錢  
 本年流行シヨール 三圓八十錢  
 純毛都腰卷 一圓三十錢  
 特製婦人毛シャツ 三圓五十錢  
 本毛シャツ 三圓二十錢  
 特價ワイシャツ 一圓五十錢

### に 鶴屋洋品店

平町四丁目 電話百四十番



東北の 花澤の 味の 伊半食堂

平町紺屋町(縣社通り)  
 味の 伊半食堂  
 評判 伊半食堂  
 オノ部電話四六〇番

### 常盤論壇

#### 研究と實際運動との限界

衆議院議員 星島二郎


京都大學の社會科學研究會を中心とした所謂學生事件は、現代思想界にとつて非常に重大な事件と思ふがこれに就ては直接こゝで、批評しようとは思はない。が、たゞ此度の事件で非常に考へさせられた事は、學者學徒の研究と實際運動との限界に就て、どうも當局の考へ方が腑に落ちない點が多く、又一般社會の人た

ちも、これに就てはつきりした考へを持つてゐないように思はれることである。で、私は先年東大の所謂森戸事件を取扱つた事もあり又此度の不祥事件に就ては此前の議會で質問したりした關係もある。「研究と實際運動との限界」といふようなことに就て、聊か述べてみたいと思ふのである

◇ 私が、こうした問題にぶつかると度毎に何時も考へさせられるのは、研究と實際運動との限界點である。一體、自然科學の研究に於て假りに醫學者が人體の解剖をするといふことは、今日

に於ては誰れしも研究として不思議に思ふものはないしかし、人間の死體を解剖し始めた當時に於ては、随分當時の宗教家、或は倫理學者等の問題となつた事は有名な話である。而して書物の上で人間の身體を研究するといふこと、直接に人間の身體を解剖研究するといふことは、之を社會科學研究にあてはめてみるとどういふことになるであらうか。

(つづく)



### 令

醬味鰹酒罐食料  
 油噌節類詰品

登録商標

製造問屋

鹽屋山崎合名社會

電話 營業部 一〇番  
 工場 二七番

### 博愛病院

平町田町(郵便局裏通り)  
 電話五五一番

内科、小兒科、産婦人科、外科、  
 花柳病科、耳鼻咽喉科、眼科、  
 金澤醫學士 村島耕造  
 火金曜日出張 日本醫學士 河井壽雄

### 胃腸

内科 專門 腸十二指腸病

### 梅毒

淋病 專門 婦人病 皮膚病

平町南松村病院 電話一七〇番

### 森永ココアミルク

獨創的營養飲料  
 新鮮な牛乳に香味豊かなココアを配し更に適量の糖分を加味して最新式の真空釜で低温度に濃縮したものであります。

一ポンド入一罐 五十錢

ヤトモツマ 番四一二話電

### 事務所新築紀念

十坪乃至二十坪位ノ小住宅  
 格安請負致シマス

外國材購入及び建築ニ關スル事柄ハ何ニヨラズ御遠慮ナク相談下サイ

平町田町五七(電話六二番)  
 丸山喜一郎

合名 野中吳服店 電話目三町平 番七六話電

### 外務社員大募集

希望者は履歷書持參午前中左記に來訪され度し

平町仲町一四  
 仁壽生命保險株式會社  
 平監督所

### 養命酒

其偉効眞に神の如く

定價 一圓五十錢、二圓

平町五丁目角 山野邊藥局

横森博士の推奨せる

# 昨日開かれた... 大瀧問題行政訴訟

昨日午後一時より 東京、行政裁判所 平町側、岩田博士 縣知事側、里見屬 發電側、猪俣博士

## 水の限度は 最小か最大か

裁判長「大瀧江筋の平水道入口より下流に送る水量十一個五九は最小限度であるか夫とも最大限度か」

## 江筋の一部は 平町の營造物

裁判長「好間川より大瀧江筋に分流すべき箇所から水道取入口迄の水路二百八十七間は平町の營造物であるかどうか」

## 水道に脅威 早ばつ時の減水

岩田「早ばつの際等に當つても発電所が普通の通りに取水する事を考へれば結局好間川は非常な減水を取らざるを得ないから発電所の計劃は平町の脅威を感じる處である」

## 平町の権利 一個三分の水

裁判長「平町が水道に用すべく引水する一個三分の水は好間川の本流に於て他の第三者に對抗し得る権利ありと認めるか如何」

## 権利の見解 好間の本流で

猪俣「平町と大瀧江筋との契約條項の中に江筋から一個三分を分水すると云ふ事のあるに依つて見ても平町は好間川の本流に其水量を取る権利がない事を立證して居る」



子供と其皮膚

お寒さに向つて皮膚を丈夫にしますには、厚着をできるだけさける事です。寒い／＼と云つて厚着をすれば

## 証人を申請 好間村長其他

(縣知事側申請)好間村長金成淺治理由一、好間川より引水の権利の有無、二、好間水利組合と電気會社との協定案中に平町の同意云々の條項あるや如何、三、平町は江筋を如何なる程度に修理せりや、以上三項を明らかにせんが爲め、(發電側申請)當時の江筋管

## 次回は未定 證人は追つて

斯くて午後三時閉庭、次回は十二月廿二日の豫定と爲し、證人は追つて許可すべきや否やを裁判長より通知する事となつた

## 怪漢は 大阪の大賊

平署の大手柄

平町丸市屋旅館に宿泊中を舉動不審の廉で去月二十六日平署に引致された自稱大阪市住吉町雜貨商荒木豊三郎に就ては引續き取調中であるが一切口を緘して語らぬので寫眞指紋等に依り各署に紹介取調の結果大阪住吉署の回答に依れば同人は去る六月中大阪市住吉町某豪商方から刀劍掛物等時價六百八十圓を窃取逃走した犯人なること判明したが餘罪ある見込みで尙引續き嚴重取調中

## 酒井高等送宴 平署

高等刑事酒井直次郎氏は今回猪苗代署に榮轉した爲め本日午後五時から住吉屋本店にて送別會を催した因に後任中村署の伊藤榮次氏は十八日頃來任する由

潮湯専門の浴場に常に出かけるか、又は家庭に(潮湯)をたて、もよろしいです。常に皮膚の清潔が大切でありますから、入浴後肌着を着換へることに依つて(三日に一度位は)皮膚を清潔にするには最も簡単な皮膚健康法であります

# 常磐炭田にも 景氣が廻つて來た

東京鑛山監督局から... 山元の貯炭を調査

不振を續けた事業界にも春が來たのか常磐炭田にも景氣が廻つて來た十月中に輸出した石炭は廿二萬九千九百三十八噸にして使用車二萬三千廿八車に達し夏涸の時期を過ぎて頗る

## 關係の 大日本、磐城、上田、松原、北方、野木

の各炭礦を筆頭に南中郷驛(大倉、磐城、星)磯原驛(大日本、磐城、大倉、村中小豆畑)勿來驛(大日本、王城、帝國、中野、瀬戸、酒井)植田驛(鳳城、阿部伊藤、吉田)湯本驛(磐城入山、三井)

## 町議板挟み 結局永ひく

平町の軌道延長については既報の如く長橋町その他から色々の希望あり行き悩んでゐる處へ鎌田町からもま

## 拂下げ未済 平稅務署で

納入を整理

平稅務署では石城郡三坂村の國有雜種財産と耕作者との特別の縁故を認め隨意契約の下に拂下げた者が八月以降納入未済のもの四十八

## 平町人事

口價格二千六百餘圓に達し當局の迷惑少からぬものあるので岡部稅務署長は近日中同村に出張實地調査の上納入未済の分に對しては許可指令を取消し見積り書を徴し公賣に附する筈である尙拂下げ許可の取消を受けたる者に對しては再度の拂下げは至難である

### ▲出生

- △田町五七 大谷菊次郎氏五女八重子
- △鎌田町四七 松崎長太郎氏長女シヅ子
- △三丁目二一 齊藤千代茂氏七女マキ子
- △一丁目二六 明智徳平氏長男英太郎